

講義名	ファッション心理学			授業形態	
担当教員	森上 幸夫	開講期・曜日・時間	前期集中 その他 その他		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

主題と概要

ファッションという概念は様々な生活レベルのモノやコトをあらわしている。個人の装いや趣味にはじまり文化的な暮らしや社会的行為にいたるまで「ファッション」と捉えられ、その多くが研究の対象となっている。研究の結果、人々の生活に根ざしたファッション（モノやコト）は、欲求、自尊心、他者比較といった心理的機制と大いに関連することが明らかになっている。本講義では、ファッションを流行現象、被服行動、化粧行動などの観点からとらえ、その現象及び行動に関する心理的機制の解明を試みる。

到達目標

ファッション心理学における、流行現象、被服行動、化粧行動の3つの領域の研究業績における調査結果あるいは実験結果を解釈することで、私たちがファッションに関わる際の心の動きを記述できるようになる。
そして、それぞれの領域の問題について多様な視点から把握を試みることで、その解決について社会的な観点をふまえて合理性と客観性をともなった説明ができるようになる。

提出課題

授業期間の中間時点と最終時点において授業内容の理解度を確認する課題がある。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

理解度を確認する課題の提出後に自己採点が可能なように正解もしくは模範解答を公表する。

評価の基準

授業期間における中間時点の課題への回答が50%、最終時点の課題への回答が50%である。

履修にあたっての注意・助言他

懸念するにあたり必ずノートをとること、講義内容については常に疑問をもち、興味・関心のある事柄は講義外においても考え続け、関連する文献・情報を読み、理解を深めようとする態度が大切であると考える。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

必要に応じて紹介する。

授業計画

- 第01回 ファッション心理学への導入1 「ファッション心理学とは何か」
予習内容：シラバスの熟読、自らのファッションに関する体験の振り返り（90分）
復習内容：授業進行と講義ノート作成の確認、授業内容「導入1」に関する情報・記事の検索・要約（150分）
- 第02回 ファッション心理学への導入2 「ファッション心理学の課題」
予習内容：ファッションとビジネスに関する情報の閲覧、心理学に関する基礎的知識の文献の閲覧（120分）
復習内容：講義ノートの整理、授業内容「導入2」に関する情報・記事の検索・要約（120分）
- 第03回 流行現象1 「流行の定義と特徴」
予習内容：流行の事例に関する情報・記事の閲覧（120分）
復習内容：講義ノートの整理、流行のパターンに関する文献の閲覧（120分）
- 第04回 流行現象2 「流行の過程と個人的特性」
予習内容：流行の音及に関する情報・記事の閲覧（120分）
復習内容：講義ノートの整理、流行の音及過程に関する文献の閲覧（120分）
- 第05回 流行現象3 「流行の対象と事例」
予習内容：流行の分類に関する情報・記事の閲覧（120分）
復習内容：講義ノートの整理、流行の類型と問題に関する文献の閲覧（120分）
- 第06回 被服行動1 「被服研究の歴史」
予習内容：被服の基礎的研究に関する文献の閲覧（120分）
復習内容：講義ノートの整理、被服の初期研究に関する文献の閲覧（120分）
- 第07回 被服行動2 「被服の傾向と個人的特性」
予習内容：被服における自らの傾向に関する振り返り（120分）
復習内容：講義ノートの整理、被服の個人的特性に関する文献の閲覧（120分）
- 第08回 前半のまとめ 「流行現象及び被服行動（上）の理解の確認」
予習内容：流行現象及び被服行動の研究展望に関する文献の閲覧（120分）
復習内容：講義ノート（前半）の整理、流行現象及び被服行動の研究における課題を考察して要約（120分）
- 第09回 被服行動3 「被服と自己要因」
予習内容：被服と自己の接点に関する文献の閲覧（120分）
復習内容：講義ノートの整理、被服行動に影響する自己要因に関する文献の閲覧（120分）
- 第10回 被服行動4 「被服と社会的影響」
予習内容：被服と社会の接点に関する文献の閲覧（120分）
復習内容：講義ノートの整理、被服行動に影響する社会的要因に関する文献の閲覧（120分）
- 第11回 化粧行動1 「顔の機能と意味」
予習内容：化粧の基礎的研究に関する文献の閲覧（120分）
復習内容：講義ノートの整理、化粧行動の基本要因に関する文献の閲覧（120分）
- 第12回 化粧行動2 「化粧の分類と特徴」
予習内容：化粧における自己観察もしくは他者観察による振り返り（120分）
復習内容：講義ノートの整理、化粧行動のパターンに関する文献の閲覧（120分）
- 第13回 化粧行動3 「化粧の個人的影響」
予習内容：化粧と個人の接点に関する文献の閲覧（120分）
復習内容：講義ノートの整理、化粧行動に影響する個人的要因に関する文献の閲覧（120分）
- 第14回 化粧行動4 「化粧の社会的影響」
予習内容：化粧と社会の接点に関する文献の閲覧（120分）
復習内容：講義ノートの整理、化粧行動に影響する社会的要因に関する文献の閲覧（120分）
- 第15回 後半のまとめ 「被服行動（下）及び化粧行動の理解の確認」

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

ファッションと人間の心理との関係を解釈し理解することから、広く、深い教養を身につけて総合的な判断力や応用力を養う。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

キーンバックロスを活用し、課題の提出、質問の受付、そして適宜評価のフィードバック、質問への回答を行う。また、毎回の授業で提示するスライドのファイルを事後に共有して復習もしくは振り返りに使えるようにする。

実務経験の有無及び活用

なし。

備考

なし。